

## 千葉県地域密着型サービス外部評価実施要領

平成18年11月6日制定

平成21年7月1日改正

平成22年7月8日改正

平成27年6月18日改正

平成31年3月25日改正

令和3年4月23日改正

令和7年4月1日改正

### (目的)

第1条 この要領は、千葉県地域密着型サービス外部評価機関選定要綱第3条に規定された外部評価の手法等について定める。

### (福祉サービス第三者評価との関係)

第2条 認知症対応型共同生活介護（以下「グループホーム」という。）は、地域密着型サービス外部評価の受審をもって、千葉県福祉サービス第三者評価事業実施要綱（以下「第三者評価実施要綱」という。）第2条第2号に定める福祉サービスの第三者評価を受審したものとする。

また、本実施要領に定めのない事項は、第三者評価実施要綱に基づき評価を行うものとする。

### (外部評価の頻度)

第3条 外部評価は、原則として年1回以上実施する。ただし、次の全ての要件を満たす場合は、外部評価の実施回数を2年に1回にすることができる。なお、この適用を受けて外部評価を実施しなかった年については、下記（1）アの適用に当たっては実施したものとみなす。

#### (1) 実施回数緩和の要件

ア 過去に外部評価を5年間継続して実施していること。

イ 「自己評価及び外部評価結果」（様式4）及び「目標達成計画」（別表2）を市町村に提出していること。

ウ 運営推進会議が過去1年間に6回以上開催されていること。

エ 運営推進会議に、事業所の存する市町村の職員又は地域包括支援センターの

職員が必ず出席していること。

オ 「自己評価及び外部評価結果」のうち、外部評価2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

## (2)実施回数緩和の報告

市町村長は上記要件を確認後、様式1により知事に報告するものとする。知事は報告を受けた事業所の情報を外部評価機関へ提供するものとする。

## (外部評価の手法)

第4条 外部評価は、次に掲げる評価手法により行う。

(1)外部評価は、県が定めた自己評価項目及び外部評価項目(別表1)に基づき複数の評価調査員(そのうち、主となる評価調査員を主任評価調査員とする。)により実施された書面調査と訪問調査の結果を総合した上で評価結果を決定する。

(2)複数のユニットを持つグループホームについては、特別な事情がある場合を除き、ユニットごとに調査を実施した上で、それらを総合してグループホーム全体を1つの単位とした評価結果とする。

## (3)書面調査

次に掲げる書類により行うものとする。

### ア 自己評価調査

当該グループホームを設置する法人代表者の責任の下に、管理者が介護事業者と協議しながら自己評価項目に従い実施した直近の自己評価結果について記した自己評価票(様式2参考様式)など文書により行う。

### イ グループホームの現況調査

グループホーム事業所の運営概要、サービス提供概要が分かる書類及びその他運営推進会議議事録など必要と認める書類の提出を求め、その書類により行う。

### ウ 家族アンケート

利用者の家族に対し、評価を受けるグループホーム事業所を通じて利用者家族等アンケート用紙(様式3)を配布し、家族から外部評価機関に直接送付された回答書により行う。

## (4)訪問調査

ア 訪問調査は、原則1日間とし、書面調査実施後に、評価調査員がグループホ

ーム事業所を訪問し、当該グループホームの運営状況の概要等について評価調査員全員が管理者から説明を受けた後、現状の確認及び外部評価項目に関する状況の調査を行う。

イ 訪問調査においては、管理者等を交えて、全体的な総括と確認を行う、

ウ 評価調査員は評価を行う際にグループホームの職員から評価調査員を証する書類をもとめられた場合は、提示すること。

(5) 外部評価機関は、「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」等違反及び入居者に対するサービスの質が著しく低下している等緊急を要する事項を確認した場合は、指定した市町村に通報する等適切な対応を行うこと。

(6) 評価結果の確定

ア 主任評価調査員は、書面調査及び訪問調査の結果を総合的に判断し、外部評価項目について、評価調査員全員の合意により評価を行い、遅滞なく調査報告書(様式4)を外部評価機関に提出する。

イ 外部評価機関は、評価を受けたグループホーム事業所に対して、郵送又は電子メールにより調査報告書の写しを送付し、意見がある場合には挙証資料を添付した上で、外部評価機関が定めた期日までに意見等を提出できる旨を告知するとともにウ及びエについても併せて告知するものとする。

ウ 外部評価機関は、上記の告知機関が経過した後に、アの報告書を踏まえて外部評価機関としての評価結果を決定する。

また、評価を受けた事業所から告知期間内に、意見及び挙証資料の提出があった場合は、これを参酌して、アの報告書の内容を検討し、外部評価機関としての評価結果を決定する。

エ 外部評価機関は、調査報告書の内容又は評価を受けたグループホーム事業所からの意見等について専門的な観点から審査を行う必要があると判断した場合には、評価委員会を開催して意見を求め、その評価委員会の意見を踏まえて評価結果を決定するものとする。

(7) 評価結果の通知等

外部評価機関は、評価結果を決定したときは、評価を受けたグループホーム事業所に評価結果報告書を送付するとともに、評価を受けたグループホーム事業所から

目標達成計画(別表2)の提出を求め、自己評価及び外部評価結果と併せて「WAM NET」に掲載する。

また、評価を受けたグループホーム事業所にどう報告書を送付する際には、当該グループホームとしての評価結果に関する事後の改善を「WAM NET」に掲載する手続きについて併せて情報提供するものとする。

#### (8) グループホーム等への事後アンケート

外部評価機関は、外部評価を実施したグループホーム事業所に対し、訪問調査の方法や外部評価の感想等についての事後アンケートを実施し、外部評価機関としての質を高めるよう努めるものとする。

(介護サービス情報公表制度との関係)

#### 第5条

(1) 外部評価を実施する際は、介護保険法(平成9年法律第123号。以下「法」という。)の規定に基づく介護サービス情報の公表制度により、グループホーム事業所から提出された基本情報及び調査情報(以下「調査票」という。))の記載内容を確認し、第4条(3)に定める書面調査の一部として活用するものとする。

(2) 外部評価を実施する年度における前項に規定する調査票が、介護サービス情報公表システム上に公開される前においては、従前のグループホーム情報提供票又は前年度の調査票(主に基本情報)を活用し、外部評価を実施するものとする。

(3) 調査票のうち調査情報の調査については、法の規定に基づくもののほか千葉県知事が別に定める要綱等に従い、調査員(法第115条の37第2項に規定する調査員をいう。以下同じ。)の資格ある者が行うものとし、第4条(1)の評価調査員のうち1名は、調査員の資格がある者が従事する。

(運営推進会議との関係)

第6条 「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準第3条の37第1項に定める介護・医療連携推進会議、第34条第1項(第88条、第108条及び第182条において準用する場合に限る。)に規定する運営推進会議を活用した評価の実施等について」(平成27年3月27日老振発0327第4号、老老発0327第1号)で示した評価の実施方法に従い、運営推進会議を活用した評価を受けた場合は、外部評価を受けたものとみなすこととする。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成18年11月6日から施行する。また、本要領の施行に伴い千葉県認知症高齢者グループホーム外部評価実施要領については廃止する。ただし、平成19年3月31日までは、千葉県認知症高齢者グループホーム外部評価実施要領に基づき評価を実施することができるものとする。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成21年7月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成22年7月8日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成27年6月18日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、平成31年3月25日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和3年4月23日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要領は、令和7年4月1日から施行する。

(別表1)

認知症対応型共同生活介護事業所に係る  
自己評価及び外部評価の評価項目

項番号		項 目	
自己評価	外部評価	タイトル	小項目
<b>I.理念に基づく運営</b>			
1	1	○理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている
2	2	○事業所と地域とのつきあい	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している
3		○事業所の力を活かした地域貢献	事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている
5	4	○市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる
6	5	○身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる
7		○虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している
9		○契約に関する説明と納得	契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている
11	7	○運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている
12		○就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている
13		○職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている
14		○同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
15		○初期に築く本人との信頼関係	サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている
16		○初期に築く家族等との信頼関係	サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている
17		○初期対応の見極めと支援	サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている
18		○本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている
19		○本人を共に支えあう家族との関係	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている
21		○利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている
22		○関係を断ち切らない取組み	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている

自己 評価	外部 評価	タイトル	小項目
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
23	9	○思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している
24		○これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている
25		○暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している
27		○個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
29		○地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している
30	11	○かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している
31		○看護職との協働	介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している
32		○入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる
34		○急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている
35	13	○災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援	日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている
38		○日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している
39		○身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している
40	15	○食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている
41		○栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている
42		○口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている
43	16	○排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている
44		○便秘の予防と対応	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる
45	17	○入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
46		○安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している
47		○服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている
48		○役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている
49	18	○日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している
50		○お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している
51		○電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている
52	19	○居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
<b>V. アウトカム項目</b>			
56		○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57		○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58		○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
59		○利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
60		○利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
61		○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない
62		○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんどいない

自己評価	外部評価	タイトル	小項目
63		○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいの ③家族の3分の1くらいの ④ほとんどできていない
64		○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65		○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66		○職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67		○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68		○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式1)

〇〇第 号  
令和 年 月 日

千葉県知事 様

〇〇市(町村)長 〇〇 〇〇

地域密着型サービスにおける外部評価の実施回数の緩和について(報告)  
このことについて、別紙の事業者より申請がありましたので、「千葉県地域密着型  
サービス外部評価実施要領」の第3条(2)に基づき、報告します。

(別紙)

市町村名 \_\_\_\_\_  
担当者名 \_\_\_\_\_  
連絡先 \_\_\_\_\_

### 外部評価実施回数緩和適用チェックリスト

事業者指定番号	事業所名	ア:外部評価の継続実施	イ:評価結果等の提出状況	ウ・エ:運営会議開催日、及び市町村職員又は地域包括センター職員の出席状況	オ:指定項目の評価結果	緩和適用の適否
1		<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・ ____年・____年・ ____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
2		<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・ ____年・____年・ ____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
3		<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・ ____年・____年・ ____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
4		<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・ ____年・____年・ ____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
5		<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・ ____年・____年・ ____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

(別紙)

市町村名 \_\_\_\_\_  
担当者名 \_\_\_\_\_  
連絡先 \_\_\_\_\_

### 外部評価実施回数緩和適用チェックリスト

	事業者指定番号	事業所名	ア:外部評価の継続実施	イ:評価結果等の提出状況	ウ・エ:運営会議開催日、及び市町村職員又は地域包括センター職員の出席状況	オ:指定項目の評価結果	緩和適用の適否
6			<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・____年・____年・____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
7			<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・____年・____年・____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
8			<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・____年・____年・____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
9			<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・____年・____年・____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否
10			<input type="checkbox"/> 5年連続実施 実施年 (____年・____年・____年・____年・____年) <input type="checkbox"/> 5年未満	<input type="checkbox"/> 提出済 <input type="checkbox"/> 未提出 (未提出物の内容)	① 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ② 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ③ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ④ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑤ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席 ⑥ 月 日 <input type="checkbox"/> 出席 <input type="checkbox"/> 欠席	<input type="checkbox"/> 全て適切 <input type="checkbox"/> 不適切あり	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 否

(様式2)

### 認知症対応型共同生活介護事業所に係る自己評価票

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	
2	2	○事業所と地域とのつきあい	利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	
3		○事業所の力を活かした地域貢献	事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	
5	4	○市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	
7		○虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	
9		○契約に関する説明と納得	契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	
11	7	○運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	
12		○就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	
13		○職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	
14		○同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係	サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	
16		○初期に築く家族等との信頼関係	サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	
17		○初期対応の見極めと支援	サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	
19		○本人を共に支えあう家族との関係	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	
21		○利用者同士の関係の支援	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	
22		○関係を断ち切らない取組み	サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している	
24		○これまでの暮らしの把握	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	
25		○暮らしの現状の把握	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	
27		○個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
29		○地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	
30	11	○かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	
31		○看護職との協働	介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	
32		○入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	
34		○急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	
35	13	○災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援	日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	
38		○日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	
39		○身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	
41		○栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
42		○口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	
43	16	○排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	
44		○便秘の予防と対応	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	
46		○安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	
47		○服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	
48		○役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	

項番号		項 目		自己評価
自己評価	外部評価	タイトル	小項目	実践状況
49	18	○日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	
50		○お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	
51		○電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	
52	19	○居心地のよい共用空間づくり	共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり	共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	

(様式2)

### 認知症対応型共同生活介護事業所に係る自己評価票

項番号		項 目	
自己 評価	外部 評価	タイトル	取り組みの成果 ↓該当のあるものに○印
<b>V. アウトカム項目</b>			
56		○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57		○利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58		○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59		○利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60		○利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない

自己 評価	外部 評価	タイトル	取り組みの成果			
			↓ 該当のあるものに○印			
61		○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①	ほぼ全ての利用者が		
			②	利用者の3分の2くらいが		
			③	利用者の3分の1くらいが		
			④	ほとんどいない		
62		○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①	ほぼ全ての利用者が		
			②	利用者の3分の2くらいが		
			③	利用者の3分の1くらいが		
			④	ほとんどいない		
63		○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①	ほぼ全ての家族と		
			②	家族の3分の2くらいの		
			③	家族の3分の1くらいの		
			④	ほとんどできていない		
64		○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①	ほぼ毎日ある		
			②	数日に1回程度		
			③	たまに		
			④	ほとんどない		
65		○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	①	大いに増えている		
			②	少しずつ増えている		
			③	あまり増えていない		
			④	全くない		
66		○職員は、生き活きと働いている	①	ほぼ全ての職員が		
			②	職員の3分の2くらいの		
			③	職員の3分の1くらいの		
			④	ほとんどいない		
67		○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①	ほぼ全ての利用者が		
			②	利用者の3分の2くらいが		
			③	利用者の3分の1くらいが		
			④	ほとんどいない		
68		○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①	ほぼ全ての家族等が		
			②	家族の3分の2くらいが		
			③	家族の3分の1くらいが		
			④	ほとんどできていない		

(様式3)

利用者家族等アンケート用紙  
(認知症対応型共同生活介護事業所)

以下の質問について、認知症対応型共同生活介護事業所(以下「事業所」という。)を利用されているご家族(本人)について伺います。当てはまる番号に○をつけてください。

- (1) 職員は、ご家族の困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？
- 1 よく聞いてくれる                      2 まあ聞いてくれる  
3 あまり聞いてくれない                4 全く聞いてくれない
- (2) 事業所でのご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族に報告がありますか？
- 1 よくある                                      2 ときどきある  
3 ほとんどない                                4 全くない
- (3) 職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？
- 1 説明を受け一緒に話し合っている  
2 説明は受けたが話し合っていない  
3 説明も話し合いもない
- (4) 職員は、ご本人の思いや願い、要望等をわかってくれていると思いますか？
- 1 よく理解している                      2 まあ理解している  
3 理解していない                          4 わからない
- (5) 職員は、ご家族やご本人のその時々々の状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか。
- 1 よく対応してくれる                      2 まあ対応してくれる  
3 あまり対応してくれない                4 全く対応してくれない
- (6) 事業所のサービスを利用することで、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか？
- 1 よく見られる                                2 ときどき見られる  
3 ほとんど見られない                      4 わからない
- (7) ご本人は、職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出かけていきますか？
- 1 よく出かけている                          2 ときどき出かけている  
3 ほとんど出かけていない                4 わからない
- (8) 事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？
- 1 全くない                                        2 あまりない



### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号			
法人名			
事業所名			
所在地			
自己評価作成日	評価結果市町村受理日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名			
所在地			
訪問調査日			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている			
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している			
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている			
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる			
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる			
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している			
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している			
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている			
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している			

(別表2)

事業所名 \_\_\_\_\_

## 目標達成計画

作成日: 令和 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1					ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。